

大楠

保護者・地域の皆様へ 第6号 平成22年7月20日(火)

本日、1年生69日間、2・3年生71日間の1学期が終了しました。145名の生徒たちが元気な今日の日を迎えられたことを大変うれしく、ありがたく思います。これも保護者や地域の皆様方の子どもたちへの愛情と学校に対するご協力の賜と心から感謝申し上げます。

《学校訪問・・・少し緊張、頑張りました》

8日(木)、町教育委員会より6名来校され、授業の様子などを参観されました。最後に「学校全体がとてもきれいで落ち着いていますね。掲示物もとても充実していて素晴らしいです。」
「学校全体の雰囲気がとても明るくなりましたね。生徒たちの表情も明るく、自分を表現するようになってきていますね。」との評価をいただきました。

生徒たちの頑張り、職員の頑張り、周りの方々の支え、励まし・・・有り難いことです。

《1学期を振り返って》

宮崎県を未曾有の窮境に陥れた家畜伝染病「口蹄疫」の発生。この1学期は、改めて言うまでもなく、そして新田中学校に限らず、これまでに体験したことのない辛く苦しい体験を通して、命の大切さ、重さ、人としての在り方等、多くを学んだ学期でありました。

学校生活にも多くの影響が出ました。大きな行事では、2年生の修学旅行の延期、地区総合体育大会の延期、参観日の中止等がありました。

その他にも延期や中止になったり、内容を一部変更して行ったりと、1学期に計画していた様々な行事に影響が出ましたが、厳しい中で、全校の皆さんはよく頑張ってくれたと思います。

県内初の発生から約90日、長く苦しい闘いでしたが、一昨日、ようやく児湯地区の移動制限が解除されました。関係の方々のご労苦に改めてご慰労申し上げますとともに、今後とも慢心せず、そして口蹄疫からの学びを決して忘れることのないよう心に刻んでいかねばならないと考えます。

終業式では、4名の皆さん(1年：比江島光祐君、2年：清千笑さん、3年：上山裕翔君、生徒会：糯原航君)が、それぞれの学年、立場での反省をしっかりと述べてくれました。

4月、私の伝えた願い「志を高く、挑戦錬磨～目標を高くもち、様々なことに挑戦し、自らを鍛えてほしい。今年は、勉強、運動だけでなく、心を鍛えることにも挑戦してほしい。」に照らして見ると、個人的な成長はもとより、全体的にも、各学年がまとまり出し、学習に向かう姿勢も少しずつよくなり、委員会活動や挨拶運動等の活性化が図られてきたと感じます。

翻って、もう少しと思う点もありました。それは、「心を磨く」ことに通じる「集団生活のマナー・ルール」です。他の人々と共同生活をする場としての学校において、ふさわしい言動ができたか。身だしなみ、挨拶、時間を守る、相手の立場になって考える、きついことから逃げない、等々。2学期に向けての課題です。

《頑張りました!! 地区総合体育大会 ご協力ありがとうございました 次は県大会、めざせ全国》

10日(土)～12日(火) 児湯地区各会場

口蹄疫の影響で、西都地区との分散開催、消毒の厳守、応援の制限など多くの制約の中での実施でした。重い犠牲の上に立って実施できる感謝を胸に、全生徒が新田中学校の代表として出せる力を十二分に発揮して頑張りました。特に最後の公式試合となった3年生は、3年間の集大成としての見事な闘いぶりでした。

保護者や地域の方々のご協力に感謝申し上げます。特に、本校は男女ソフトテニスの会場で雨との戦いでしたが、児湯ソフトテニス連盟の方々をはじめ、保護者の皆様の献身的なご協力により4日間に渡る大会を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

《試合結果》 ★が県大出場 ※敬称略

男子ソフトテニス 団体：優勝★

個人：1位 山本・山口組★

3位 佐竹・濱砂組★

4位 杉田・清水組

女子ソフトテニス 団体：優勝★

個人：2位 森松・緒方組★

6位 宮武・高木組★

男子バスケットボール 3位

女子バスケットボール 1回戦惜敗

野球 1回戦惜敗

女子バレーボール 1回戦惜敗

剣道女子(学校外) 団体：3位★

個人：1・2回戦惜敗

《県大会》 ※開会式は中止

24日(土)

ソフトテニス男女団体戦(県運動公園)

25日(日)

ソフトテニス男女団体・個人戦、水泳(県運動公園)

弓道、剣道(県武道館)

空手(新富町体育館)

26日(月)

ソフトテニス男女個人戦、水泳(県運動公園)

※本日(20日)の壮行会で各部長や代表者が力強く決意を語ってくれました。新田中学校、そして地区代表としての頑張りを期待しています。引き続き、消毒の厳守、応援は部員・保護者のみとなりますが、ご協力、応援よろしくをお願いします。

《ご理解・ご協力に感謝 有意義な休みに》

口蹄疫の影響により各種の行事(学校・PTA)の延期・中止が余儀なくされましたが、いずれもご理解・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。今後とも役員の方々とは十分に相談させていただき、実施して参る所存であります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

明日から37日間の長い休みに入ります。我が子の頑張り・成長と一緒に確認していただき、家庭・地域で過ごす長期休業が有意義なものとなるよう、各ご家庭で工夫してください。

(文責：宮本 綾)